

地震への備え、 本当に大丈夫ですか？



Research & Check

ハザードマップで自分のまちの危険を知りましょう！

重ねるハザードマップ
～災害リスク情報などを地図に重ねて表示～

洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

地図を見る

場所を入力
例：茨城県つくば市北郷1 / 国土地理院

表示する情報を選ぶ

- 洪水(想定最大規模)
- 土砂災害
- 高潮(想定最大規模)
- 津波(想定最大規模)
- 道路防災情報
- 地形分類

過去の代表的な災害事例をみる

わがまちハザードマップ
～地域のハザードマップを入手する～

各市町村が作成したハザードマップへリンクします。地域ごとの様々な種類のハザードマップを閲覧できます。

地図で選ぶ

まちを選ぶ
都道府県 市区町村

国土交通省

「わがまちハザードマップ」
& 「重ねるハザードマップ」

自分のまちの
ハザードマップを
Webで
確認できます！



ハザードマップを見てチェックしましょう！

<input checked="" type="checkbox"/> 確認したらチェック！	ここからは実際に避難場所まで歩いて、以下のようなところがない道を選びましょう
あなたの住んでいる家に○印をつけましょう	ブロック塀に囲まれた路地
家のまわりの震度はいくつですか？ 震度()	自動販売機、落ちそうな看板
のこぎり、パール、ジャッキなどの工具のある場所はありますか？	崖や倒壊しそうな家に挟まれた道
避難場所はどこですか？ ()	火事になったら逃げにくいような狭い路地
避難場所まで行く道に赤い線を引きましょう	津波がすぐに来そうな道や橋
消火用の水が確保できそうな場所はありますか？	高压電線が横切っている道
津波ハザードマップの場合	
あなたの家のまわりの津波の高さはどのくらいですか？ ()cm	避難できる高い場所や建物に印をつけましょう

ハザードマップの読み方は、
日本損害保険協会のツールで
確認できます！



リーフレット



動画

具体的に何を備えればいいのか？

裏面もご覧ください！

地震から命を守るために！

揺れから身を守る方法を家族で確認しましょう！

覚えておこう 3つの姿勢

1 身を低くして頭を守る

大きなゆれで転倒しないように身を低くして、手のひらを内側に向けて頭を守る。



2 カバンで頭を守る

頭から10cmくらい離してカバンで頭を守る。手はできるだけカバンの下へ入れる。



3 机などの下にもぐる

じょうぶな机などの下にもぐり頭を守る。机の脚をしっかりと握る。



日本損害保険協会

ぼくとわたしの安全シート(地震)

家族と一緒に地震から身を守るための方法を確認できます！



避難場所を家族で確認しましょう！

1 避難する場所を決めておく

あらかじめ家族で避難する場所を決めておき、自宅から避難するときは避難先を書いたメモを玄関に残す。



2 困ったときは助けを求めろ

近所にいる親戚や、顔見知りの人がいるときは助けを求めろ。



3 災害用伝言ダイヤル・災害用伝言板などを利用する

通話やメールができない時に、無事かどうか登録できる。そして、登録された家族のメッセージを確認できる。

災害用伝言ダイヤル
(電話番号171)

携帯・スマートフォン
など声で登録、確認



災害用伝言板

携帯・スマートフォン
など文字で登録、確認



地震から家を守るために！

地震で住宅が被災すると、再建費用は大きなものとなり、行政の支援金などだけでは不足する場合があります！

東日本大震災で全壊被害に遭った住宅のケース

住宅再建に必要な費用

公助・共助で受け取れる金額

※東日本大震災の一例です

住宅新築費用
約2,500万円

不足する金額
約2,100万円

約100万円
300万円

義援金
被災者生活
再建支援金



内閣府パンフレット「保険・共済加入のすすめ」より

備えて安心 地震保険の話

住宅等の被災の備えとして「地震保険」が有効です。火災保険では地震による被災は補償されませんので、備えの一つとして「地震保険」をご検討ください。



生活を守る！ 防災・減災情報(地震)

住宅の耐震診断や家具の転倒防止など、今できることから備えましょう！

